

明日をひらく窓

～生涯学習ニュース・話題・トピックス・情報～

第83号

2005.4.28

登別市教育委員会
生涯学習推進室発行
電話：88-1154

生涯学習のほりべ



学んで広がるみんなの輪

楽しく学べる体験学習

5月のわくわくイベント

ネイチャーセンター(ふいねすと鉱山)

～自然体験から学ぶ～



問い合わせ先
【電話：85-2569】

この他にも体験コーナーや特別企画も用意しています。



ネイチャーセンターは鉱山町の自然豊かな環境の中にあります。今年も山や川、動植物などに目を向けた自然体験学習を計画しています。

ゴールデンウィークスペシャル

(10時～15時)

- 5月3日(火)・なんでも図画教室
 - ・春を探そうピクニック
 - ・草木で染めよう・魚拓に挑戦
 - ・フクロウクラフト
- 5月4日(水)・バードウォッチング
 - ・身近な野草料理教室
 - ・MTBじゃり道ツアー
 - ・フクロウクラフト
- 5月5日(木)・お菓子をつくろう・桜と野点
 - ・クライミングウォール選手権

こどもの日
スペシャル

4月、新たな出会いの中で

4月は、入園式や入学式、入社式とそれぞれに新しい人生のスタートを切る季節です。世代は異なっても、新たにこの節目を迎えた皆さんは、人と人との出会いに夢と希望をふくらませ、確かな歩みを進めていくことでしょう。



市内の幼稚園、小中学校の入園式、入学式がそれぞれ4月のはじめに行われました。お兄さん、お姉さんに大歓迎を受け、温かい雰囲気のもと、園児280名、小学校の新入生437名、中学校の新入生467名のみなさんがピカピカの1年生となりました。



登別市では、4月7日(月)から13日(水)までの5日間、「新入学児童生徒を交通事故から守る運動」の啓発活動が行われました。上野市長をはじめ関係の方々が元気に登校する新一年生に優しく言葉をかけていました。



一方、市民会館では4月26日(火)「ときめき大学」の入学式・始業式が行われ、生涯学習を積極的に進める47名の方々が入学しました。総長の上野市長は式辞の中で、「皆さんは人生の先達として、これまで培った経験や豊かな知識を次の世代へと伝え導き、登別のために生かしてしてください。そして、健康で学ぶ喜びをいつも失わず、ときめき大学の仲間と一緒にがんばってください」とエールを送りました。

新入生を代表して野田正弘さんは、「ときめき大学で学び得た成果を、明るく住みよい登別のまちづくりのため、少しでもお役に立てることができるよう努力していきたい」と力強く決意を述べました。

その後、前郷土資料館長の森田只志氏が「無理なく自分に挑戦」と題して講演し、健康を維持する三要素は、頭の健康、心の健康、体の健康であり、何事にも無理なくチャレンジすることが肝心とアドバイスして講演を締めくくりました。



郷土資料館・文化伝承館～郷土の歴史を学ぶ～



問い合わせ先
【電話：88-1339】

郷土資料館・文化伝承館はお城づくりの建物で広々とした川上公園の中にあります。今、たくさんのこいのぼりが春風に乗って心地よく泳いでいます。館内には登別の開拓当時の生活必需品やアイヌ文化、武家時代の資料がわかりやすく展示されています。SLGの皆さんの協力で、様々な体験学習を計画しています。

5月28日(土)わんぱくサムライ体験

(10時～13時)

- ・流鏝馬(やぶさめ)体験
- ・茶道
- ・チャンバラ体験
- ・せんべい焼きコーナー
- ・昔の遊びコーナーほか

市立図書館～心を耕す読書を～



問い合わせ先
【電話：85-4324】

図書館には、幼児から大人までのニーズに応えられるように様々なジャンルの本を用意しています。「読書は心の栄養」といわれています。子育てに、生涯学習に読書をお勧めします。

また、毎週土曜日の午前中には親子で一緒に参加できる、DVD上映会、工作教室、おはなしほけつによる絵本の読み聞かせを実施しています。会場は市立図書館、鷲別公民館、登別婦人センターの3会場でおこないます。工作教室は

- 5月14日(土)・・・鷲別公民館 10時～
 - 5月21日(土)・・・市立図書館 10時30分～
- いずれも「お金の消える貯金箱を作ろう」です。14日は定員20名、21日は定員30名です。

青少年の安全・安心な環境づくりに・・・青少年補導センター

【電話 88-1154】

補導センターでは、4月22日(金)第1回青少年補導委員連絡会を開催しました。武田教育長より23名の新任の補導委員に委嘱状が交付され、教員33名、一般29名、計62名の補導委員による巡回指導がスタートします。

市内では4月に入り不審者の出没が2件あり、子どもと親に不安を与えています。

ここ数年、「地域の子どもは地域で守ろう」という機運が高まり、自主的にパトロールを実施する地域がみられるようになってきました。補導センターでは、安心して生活できる地域づくりと青少年の健全育成を家庭や学校、地域および関係機関との連携を密にしながら進めていきます。